

平成 23 年司法試験 答案構成

設問 1

1 結論

撤回×

2 理由

(1) 事実の自白の撤回制限効の根拠

審判排除・不要証

→信頼

→信頼保護のため撤回制限

(2) 権利自白の場合

権利自白＝裁判所拘束力なし

⇒信頼なし・撤回制限なし

But 所有権の権利自白を起点に立証

→事実上の裁判所拘束力？

→信頼あり・撤回制限あり

設問 2

1 独立当事者参加

(1) 結論

認められる

(2) 理由

非両立要件

→本件＝B請求・F請求 訴訟物同一

⇒両立？

両請求とも債権者代位

→原告適格が非両立

2 共同訴訟参加

(1) 結論

認められる

(2) 理由

必要的共同訴訟成立要件

類似を検討

→既判力拡張要件

本件

→被担当者に既判力拡張（115 I ②）

→被担当者を通じてその後の担当者にも及ぶ
⇒類似成立

設問 3

1 問題の所在

固有成立だと 40 I ⇒M陳述効力否定

2 固有必要的共同訴訟の成否の判断基準

管理処分権基準

3 本訴請求について

建物収去土地明渡＝不可分債務（民 430）

→民 432・管理処分権単独保有

⇒通常成立・M陳述効力あり

4 中間確認請求について

共有権確認

→共有者全員に管理処分権帰属

⇒固有成立・M陳述効力なし（40 I）

5 結論に対する若干の疑問

本訴請求勝訴の場合どうなる？

⇒執行できないから不都合なし